

子どもの健康と病気の予防②

— 子どもと新型コロナウイルス変異株の感染 —

小宅医院 小宅民子

2021年4月に、東京、大阪、兵庫、京都の4都府県を対象に、3回目の緊急事態宣言が発令されました。流行拡大の大きな要因は新型コロナウイルスの変異株といわれています。子どもは新型コロナウイルスにかかっても多くは無症状、または軽症ですむといわれていました。今回流行している変異株に関して、現時点でわかっていることを報告します。

変異株は、これまで流行していた株（既存株）に比べ、1人の感染者が他の人に感染させる力が強いといわれています。現在の流行の主流は英国株といわれており、既存株に比べ約1.7倍の感染力（最大70%感染力が高い）といわれています。国内でも子どもが集まる施設で、この変異株によるクラスターが報告されています。子どもの感染者数は増加しています。しかし、この変異株が流行しているイギリス

では、変異株による感染が、特に子どもに多いということではなく、成人と子どもの感染の割合は既存株と大きく変わっていません。国内でも、現段階では15歳未満の小中学生について変異株の感染が従来のものと比べ広がりやすいということは明らかになっていません。

また、子どもが変異株に感染した場合も既存株と異なる経過を示すことはないと言われていると報告されています。子どもの変異株感染も、既存株と変わらず、多くは無症状、または軽症です。子どもの変異株感染が重症化するという報告もありません。

変異株への対策は、今まで通りの感染対策をしっかり続けることが重要です。特に小さな子どもの感染予防は難しく、感染拡大を防ぐために、まずは大人がしっかりと感染対策を行いましょう。

子どもと新型コロナウイルス変異株感染の5つのポイント

- 流行拡大の要因は変異株の感染
- 現在、流行の主流は英国株
- この変異株の感染力は既存株の約1.7倍
- 変異株の感染が子どもに流行しやすいという証拠はない
- 子どもの変異株感染は多くは無症状、軽症